

R6事業費納付金・本算定に向けた対応策について

【1 保険料抑制の追加財源について】

下記項目における追加財源の確保により、本算定に向けた保険料額の抑制を図る。

	項目	内容等
1	前期高齢者交付金精算に備えた留保財源の活用	<ul style="list-style-type: none"> 後年度の前期高齢者交付金の精算のための留保財源について、仮算定で留保するとした額の$\frac{1}{2}$を保険料の抑制財源とする。
2	特例基金（財政基盤強化分）の前倒し活用	<ul style="list-style-type: none"> R7の抑制総額：598,324,231円を前倒し活用する。 ※ただし、R6仮算定値より増加する場合に限る。

【2 国への緊急要望】

保険料の完全統一への円滑かつ確実な移行を図るための激変緩和措置等について、国への緊急要望を行う。

	項目	内容等
1	国への要望による激変緩和措置等の財源確保	<ul style="list-style-type: none"> 統一の加速化を推進する観点も踏まえ、全国で先鞭となる保険料の完全統一への円滑かつ確実な移行を図るため、国に対し、激変緩和措置等の支援を求める。